



## 話題のサル痘とは？

### ～あとコロナワクチン4回目についても少し～



医療法人社団 秀皓会 理事長 船本 全信

最近、気持ちのいい春をすっ飛ばして、夏みたいに熱くなってきましたね。皆様、体調はお変わりありませんか？ 幸い、コロナ感染症も沈静化してきてホッとしております。先日、国立感染症研究所から、「コロナウイルスは空気感染する。」と発表されました。これはつまり、マスク・アクリルの衝立は殆ど感染予防に効果無く、換気を良くすることで対応充分ということです。つまりは、3密を避けるだけで充分であり、外出時にはマスク不要で、換気のいいお店であれば当然マスクも不要ということです。ただ、日本の特徴としての同調圧力がありますので、状況に応じて装着できるよう携帯はしててください。

さて、ワクチン4回目接種券がお手元に到着し始めていますが、当院ではコールセンターを通して予約を開始し、7月4日より接種実施します。今回は、ファイザー製のワクチンは少なく、殆どが「モデルナ製」になるとのことです。当院では、出来るだけファイザー製をと考えておりますが、入荷状況ではモデルナ製となることもご了承ください（ワクチンの種類は、コールセンターでの予約時にどちらかが分かります。）

コロナ感染症が落ち着いたのも束の間、TVでは「サル痘」が話題に上っています。これはいったいどのような疾患でしょうか？

サル痘は天然痘ウイルスに似た「サル痘ウイルス」に感染することで起き、国立感染症研究所によりますと、顔や体に特徴的な発疹が出るほか、発熱やのどの痛み、リンパ節が腫れるなどの症状が出ます。多くの場合、2週間から4週間程度で自然に軽快するものの、幼児や妊婦、それに健康状態によって免疫が抑制される人などで重症化する場合があります。サル痘の致死率は、過去にアフリカで感染が起きた際には、数%から10%程度に上ったと報告されていますが、生活環境の整った日本では特段の心配は不要と思います。サル痘ウイルスは、ネズミやリスなど感染した動物にかまれたり、感染した人の血液や体液・発疹に触れたりすることでヒト→ヒト感染することがあります。ですので、空気感染する新型コロナウイルスのように急激に患者が増えるわけではなく、世界中に感染拡大することは心配しなくてよいと思います。

現在のところ、有効な治療法はありませんが、1980年に根絶された天然痘ワクチンがサル痘にも高い予防効果があるとされていて、各国ではワクチンの確保を進めるなどサル痘の感染拡大に警戒を強めています。日本には、非常に有効で副反応がほとんど出ない安全なワクチンがありますが、バイオテロ対応の国家備蓄用ワクチンで、一般の人は入手できません。ですが、いざとなればかなりの製造能力はありますのでご安心ください。高齢世代(1976年に接種終了)で2回以上接種している人は免疫が残っていますので、接種対象は50歳以下の年齢の方となると思います。

実はこれ以外にも、日本では海外から持ち込まれた梅毒が、若年者層に大流行しており、こちらにも注意が必要です。ちなみに、ウクライナに侵攻しているロシアなどの独裁国家は、相手国に炭そ菌・天然痘といったバイオテロや化学兵器を使用するリスクがあります。こういった研究は、実は「防衛省」が担ってくれています。災害時だけではなく、もしもの時に身を守ってくれる頼もしい存在「自衛隊」「防衛省」について熱いエールを送りましょう。

(裏面へ続く→)

ちなみに、7月は参議院選挙です。私は、自衛隊や防衛に関して前向きな政党・候補者に、1票を投じようと考えています。皆さんも、よく考えて清き1票を投票してくださいね。

## ～院内感染対策に関する取組事項について～

### 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方

感染防止対策は、安心・安全な医療提供体制の基盤となるものです。

当院では、感染防止対策を医院全体として取り組み、患者様・職員・その他医院関わる全ての人々を対象として、院内感染発生の予防と発生時の速やかな対応を行うことに努めます。

### 2. 院内感染対策に係る組織体制、業務内容

院内感染管理者を中心に感染対策部門を設置して以下の活動を行います。

- ・感染症サーベイランス…感染症発生状況の調査・集計
- ・院内巡回（院長：週1回行います）
- ・抗菌薬適正使用の推進
- ・職員への感染防止対策教育、研修会の開催（不定期（火）午前診療後に実施）
- ・院内感染防止に係るマニュアルの作成、改正など

### 3. 抗菌薬の適正使用のための方針

厚生労働省「抗微生物薬適正使用の手引き 第二版」を参考にして、治療効果の向上や副作用、耐性菌の減少に努めます。

### 4. 地域医師会との連携体制

西宮市医師会が主催する院内感染対策に関するカンファレンスに参加し、感染患者の発生状況、院内感染対策の実施状況等に関して情報の共有・意見交換を行い、最新の知見を共有するように努めます。

地域医師会が主催する新興感染症の発生等を想定した訓練に参加します。

ふなもとクリニックでは、

院内における感染に対して日々取り組みをおこなっています。



ふなもとクリニック

◆ふなもとクリニック 〒663-8165 西宮市甲子園浦風町 7-13 tel. 0798-81-1192

◆居宅介護支援事業所

ふくろう

〒663-8165 西宮市甲子園浦風町 6-20 1F デイ 3F 居宅

◆デイサービスセンター

tel. 0798-40-9500(居宅) 0798-49-7670(デイ)

「ふくろうだより Vol. 83」第1版 2022/06/01 発行（次号は2022年8月初旬頃の予定です）